



正式名称 / 統治体制

アデイス王国 / 君主制

エンブレム



基本情報

- ・ 人口 約380万
- ・ [宗派](#) 女神シルフィーナ

特徴

[アルファ](#)、[ロンドーナ大陸](#)北西部に存在する島に位置する。

複数の民族が混在する複合民族国家。これはかつて各地から船で航海し、この島を見つけた人々の子孫がそのままこの地で繁栄したからである。

当時の人々は島の開拓に熱中し、それらの民族が皆力をあわせた為、他民族が今は一つの国家として完全に融合されている。

しかし、島の許容範囲が越えた時、それ以上の移民を快く思わなかった国家は他国との交流を遮断、以後数百年に及び鎖国状態となり、文明の発展は他国に比べて遅れている。

もともと、海を渡ってやってきた複数の民族が混在するうちに、自然と国になった経緯があり、建国のいきさつははっきりしていないが、その後指導者が現れ、そのまま王族となった。

しかし、島の許容範囲を越す移民を快く思わなくなり、865年、突然の鎖国宣言を行い、外界の情報を遮断する。その後、文明の発展は遅れ、1653年に鎖国を解いたとき、アデイス国を本気で貿易相手とする国はほとんどいなかった。

焦り始めたアデイス国は、富国強兵を掲げ、急速に軍備を高め、1737年、海を越えた[リヴォル](#)帝国への進軍を決意する。しかし、情報が漏れ、逆にリヴォル帝国の先制攻撃を受け、[リオネティアの戦い](#)で大敗、リヴォル帝国に降伏の使者を送ることとなる。

その後、[アルビス](#)国が提唱した[三国連合](#)に加盟し、表向きはリヴォル帝国に恭順するが、裏では密かに反抗作戦を行っていた。ただ、軍事力のない彼らは、シャラダンの愛娘である[ミリィ](#)を拉致するという非情の手段をとる。その結果、魔王の逆鱗に触れたアデイス国は、[アデイスの戦い](#)において王族は皆殺しにあり、国土も焦土と化した。

本来ならそのままリヴォル帝国に併合されるところであったが、リヴォル帝国もこの時、帝都に迫る[アルビス](#)国軍に向かって引き返した為、後には焼け野原と数え切れない遺体が残された。

その後、[リヴォル](#)帝国を撃ち破った[アルビス](#)国によって再興され、[北海連合同盟](#)にも加入するが、リヴォル国とは遺恨を残し続けた。

歴史

- ・ 865年 他国との交流を一切遮断する。
- ・ 1653年 他国との貿易を再開。



1737年時の勢力図（クリックで拡大）

- ・ 1737年 [リオネティアの戦い](#)で大敗、[リヴォル](#)帝国に実質上の降伏状態となる。
- ・ 1739年 3月、[アルビス](#)国、[アデイス](#)国、[シーフィールド](#)国の間で[三国連合](#)が結ばれる。
- ・ 1741年 8月、[アデイス](#)国と[リヴォル](#)帝国の間で[アデイスの戦い](#)が勃発し、この戦いで国土は焦土と化し、ほぼ壊滅状態となる。
- ・ 1741年 [アルビス](#)国により再興。
- ・ 1741年頃 [北海連合同盟](#)に加盟する。
- ・ 1742年 2月、[アルビス](#)国に追隨する形で[六界連合軍](#)に賛同はするが、直接参戦はしていない。

主な出身者

- ・ [リフィティ](#)

この国を舞台とした物語

- ・ [LUNATIC DESTINY](#)

